



令和3年10月4日
十日町市文化財課

旧・山内写真館の写真が「ジャパンサーチ」に加わりました

新潟県中越大震災で被災し、十日町市古文書整理ボランティアが整理作業を進めてきた旧・山内写真館資料4万8千点のうち3,047点の写真画像が、国の取組である「ジャパンサーチ」に掲載され、9月から誰でも気軽に検索・閲覧ができるようになりました。日本を代表する雪国十日町市の、明治から昭和にかけての暮らしや文化を記録した貴重な画像をぜひご覧ください。

1 ジャパンサーチとは

内閣府のデジタルアーカイブジャパン推進委員会・実務者検討委員会が運営主体で、国立国会図書館がシステム運営を行うもので、書籍・文化財・メディア芸術など、さまざまな分野のデジタルアーカイブと連携し、我が国が保有する多様なコンテンツのメタデータ（コンテンツの内容、所在等に関する情報を記述したデータ）をまとめて検索・閲覧・活用できるプラットフォームです。

2 閲覧の仕方

- ①ジャパンサーチのトップページ<<https://jpsearch.go.jp>>にアクセスする。
- ②検索キーワード欄に「山内写真館」あるいは「山内景行」と入力する。
- ③サムネイル画像や内容情報が表示される。
(ここからさらに内容を絞って検索が可能)

3 画像の貸出等について

画像の貸出利用等については、文化財課にお問い合わせ下さい。

e-mail:museum.10@city.tokamachi.lg.jp

4 添付資料

「ジャパンサーチの概要と連携方法のご案内」(2021年3月版)

■お問合せ先

十日町市文化スポーツ部文化財課 文化財保護係
担当：高橋 ☎025-757-5531 (直通)



国の分野横断型統合ポータル JAPAN SEARCH

概要と連携方法のご案内



<https://jpsearch.go.jp/>



ジャパンサーチとは

- ジャパンサーチは、我が国のさまざまな分野のデジタルアーカイブと連携し、多様なコンテンツをまとめて検索・閲覧・活用できるプラットフォームです。
- デジタルアーカイブジャパン推進委員会・実務者検討委員会（事務局：内閣府知的財産戦略推進事務局）の方針のもと、さまざまな機関の協力により、国立国会図書館がシステムを運用しています。
- 2020（令和2）年8月に正式版を公開しました。



連携しているデータ
約2,200万件



連携機関（つなぎ役）
20機関以上



連携データベース
100件



閲覧数
約100万PV



**海外100か国超
からアクセス**

（2021年1月現在。閲覧数は2020年8月25日から2021年1月31日までの数）



ジャパンサーチの目的

- デジタルアーカイブは、文化の保存・継承・発信だけでなく、観光や地方創生、教育研究、ビジネスへの利用など、新たな価値創出、イノベーション推進にも役立てることを目的とした取組です。特に最近では、新型コロナウイルスの影響により、リモートで活用できるデジタルコンテンツの需要が高まっています。
- ジャパンサーチを通して、コンテンツの所在を明らかにし、我が国のデジタル情報資源が効率的に発見され、国全体として有効に活用されていくことを目指しています。



ジャパンサーチの機能

機能1 探す

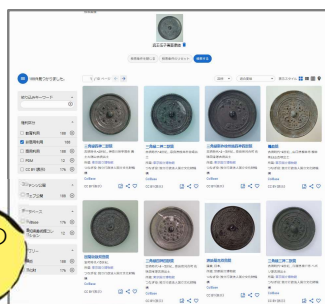
横断検索

ジャパンサーチと連携しているコンテンツを横断検索

画像検索

類似する画像を検索

様々な目的での
資料探しに



画像検索の例

ギャラリー

機能2 楽しむ

検索しなくても、デジタル
アーカイブの魅力や資料の
広がりを楽しめる電子展覧会
約200点を公開

地域について
まとめた
ギャラリーも



「伊能図」のギャラリー

学術・研究、
アプリ開発に

機能3 活かす

マイノート

お気に入りのコンテンツを登録し、自由に編集できる機能
作成したマイノートはhtml形式で出力でき、自身のサイトやブログに貼り付けて公開可能

利活用データ

ジャパンサーチが集約したメタデータを、人名の表記ゆれを吸収したり地名に座標情報を追加する等して、利活用しやすい形式に変換したデータ。SPARQLエンドポイント*という方法で取得可能。

* RDF言語のひとつであるSPARQLを用いてデータを提供するAPI(Application Programming Interface 外部提供インタフェース)

ワークスペース ※

マイノートを複数人で同時に編集できる機能

調べ学習など教育やイベントに

プロジェクト ※

ジャパンサーチ上で、データベース登録、ギャラリー作成などの機能を体験できる機能

※ワークスペース・プロジェクトは連携機関向けの機能ですが、お試し利用も可能です。
お問合せフォーム（裏面）からご連絡ください。

ジャパンサーチとの連携方法



ジャパンサーチと連携するメリット

- ジャパンサーチを通して、より多くの人々がコンテンツにアクセスし、活用されるようになります。
- ジャパンサーチの連携機能向け機能（ギャラリー、テーマ別検索、ワークスペース、プロジェクト等）をご利用いただけます。ウェブサイトの充実や電子展覧会作成、イベント開催等に役立ちます。



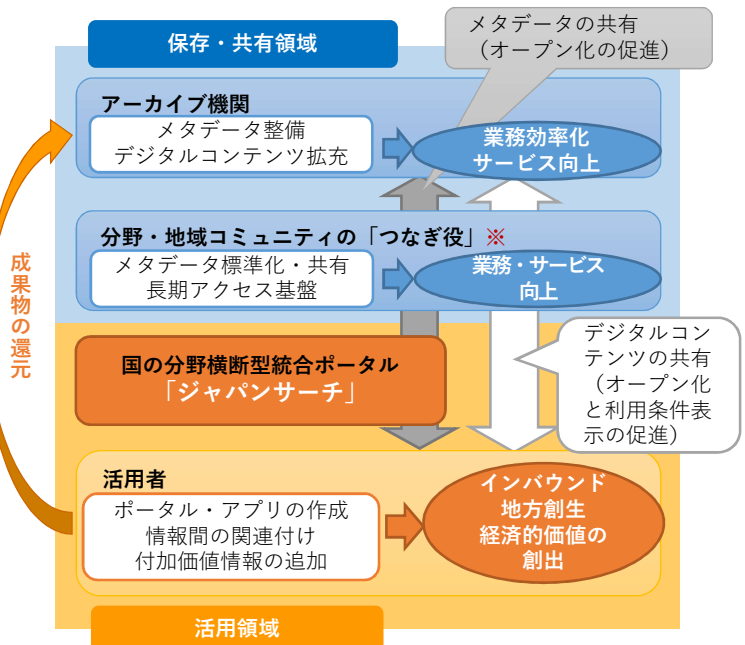
連携対象

各分野・地域のつなぎ役※を通じて、国の文化機関をはじめ、図書館、博物館・美術館、更には地方自治体や大学など、幅広い機関（アーカイブ機関）と連携しています。

※ 分野・地域コミュニティでメタデータを集約し、API 等による提供を行う機関

【地域アーカイブとの連携事例】

- にいがた地域映像アーカイブデータベース（新潟大学）
- 信州デジタルcommons（県立長野図書館）
- 三重の歴史・文化デジタルアーカイブ（三重県）
- デジタルアーカイブ福井（福井県文書館・福井県立図書館）



図：ジャパンサーチの位置づけとデジタルアーカイブ及びメタデータの共有と利活用のサイクル



よくあるご質問

Q ジャパンサーチと連携したい・連携方法を詳しく知りたい

A 「連携をご希望の機関の方へ」（<https://jpsearch.go.jp/cooperation>）のページ、「連携に関するQ&A」（<https://jpsearch.go.jp/cooperation-faq>）のページで、連携方針、連携方法などについてご案内しています。これらのページを一読いただいた後、下記「お問合せフォーム」からお気軽にお問い合わせください。連携担当から折り返しご連絡いたします。

Q デジタルアーカイブに関する国の方針や施策についてもっと知りたい

A 「ジャパンサーチの概要」（<https://jpsearch.go.jp/about>）ページの「方針・施策」をご覧ください。

Q ジャパンサーチの利活用事例を知りたい

A 「ジャパンサーチの利活用事例」（<https://jpsearch.go.jp/usecase>）のページをご覧ください。また、アーカイブのページ（<https://jpsearch.go.jp/archive>）の過去のイベント・記事についても、利活用事例を扱ったものがあります。

【お問合せ先】

- 連携のご希望、ご質問、ご要望は「お問合せフォーム」からお寄せください。
<https://jpsearch.go.jp/contact>

- SNSで最新情報を発信しています。



JAPAN SEARCH



JAPAN SEARCH（公式）
@jpsearch_go



JAPAN SEARCH公式チャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UCSK72iSEQMzEcu8BWLEFzPQ>

デジタルアーカイブジャパン推進委員会・実務者検討委員会（事務局：内閣府知的財産戦略推進事務局）
https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/digitalarchive_suisiniinkai/

2021年3月発行